

おかやまキャリア・パスポートの定義

児童生徒が、小学校から高等学校までの諸活動について、特別活動の学級活動を要として、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりしながら、自身の変容や成長を自己評価できるよう学習過程や成果などの記録を計画的にファイル等に蓄積したポートフォリオのこと。

※キャリア…人が生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分と役割との関係を見出していく連なりや積み重ね

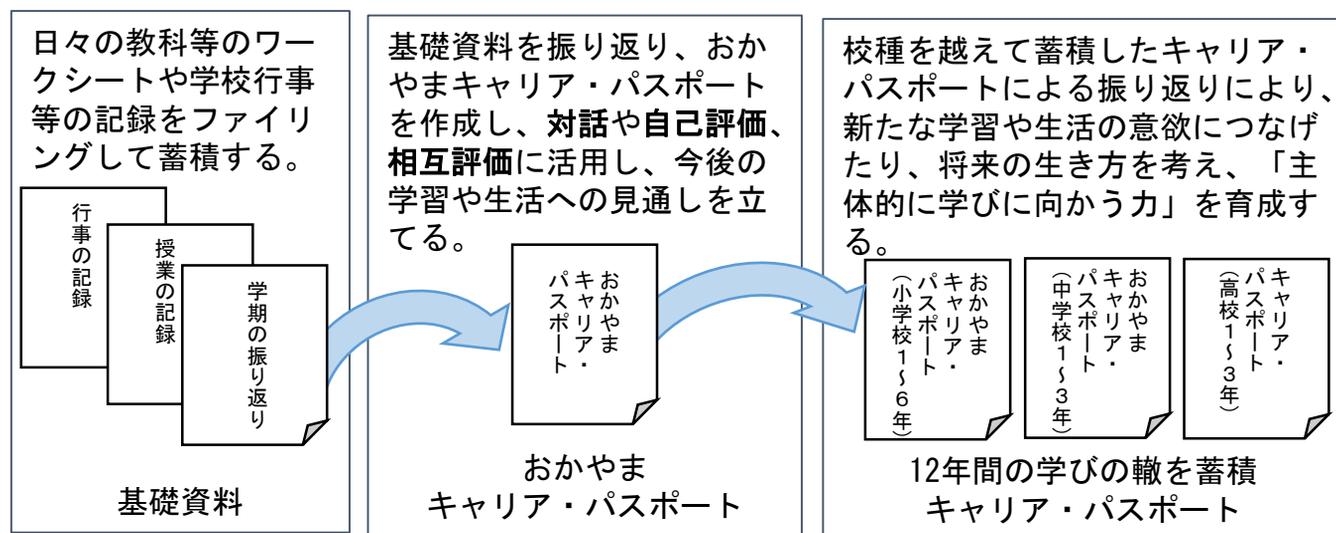
おかやまキャリア・パスポート活用の目的

学校、家庭及び地域における**学習や生活の見通しを立て、学んだことを振り返りながら、新たな学習や生活への意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりする活動**を通して、**主体的に学びに向かう力**を育成する。

おかやまキャリア・パスポートの活用で期待される成果

- 児童生徒が、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりして、自己評価を行うとともに、主体的に学びに向かう力を育み、自己実現につなぐ。
- 教師は、キャリア・パスポート等の記述をもとに対話的にかかわることによって、児童生徒の成長を促し、系統的な指導に資する。

おかやまキャリア・パスポートの活用イメージ



小・中学校学習指導要領の抜粋

○第1章 総則 第3の1の(4)

児童生徒が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を、計画的に取り入れるように工夫すること。

○小学校 第6章 特別活動 第2〔学級活動〕3内容の取扱い(2)

中学校 第5章 特別活動 第2〔学級活動〕3内容の取扱い(2)

学校、家庭及び地域における**学習や生活の見通しを立て、学んだことを振り返りながら、新たな学習や生活への意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりする活動**を行うこと。その際、児童生徒が活動を記録し蓄積する教材等を活用すること。